

非浸潤癌（乳癌）の治療指針

V N P I（The Van Nuys Prognostic Index）

南カリフォルニア大学のグループ（シルバースタイン）が提案・発表し、世界各国の専門家に利用されています。

なお、これで全てが決まるわけではありません。個々の患者さんと腫瘍の条件を加味して最終方針を決める際のたたき台と考えて頂ければいいでしょう。

下記 1)～4) の 4 項目の得点の合計で治療の大まかな方向性を決めます。

項目の得点

	1点	2点	3点
1) 腫瘍径	1.5 cm以上	1.6～4.0 cm	4.1 cm以上
2) 細胞核異型度	グレード1	グレード2	グレード3
3) 切除断端と腫瘍の最短距離	1 cm以上	0.9～0.1 cm	0.1 cm未満
4) 年齢	61 歳以上	40～60 歳	39 歳以下

上記合計点数（VNPI スコア）における妥当な治療

合計点数（VNPI スコア）	妥当な治療
4～6点	乳腺部分切除のみ
7～9点	乳房部分切除+放射線治療
10～12点	乳房切除

例) 腫瘍径…8mm、核異型度…グレード1、切除断端距離…1.2 cm、年齢…47 歳の場合

1 + 1 + 1 + 2 = 5 点…乳腺部分切除が妥当な治療となります

* 腫瘍径・・・腫瘍の直径

* 細胞核異型度・・・がん細胞核の悪性度、形態上の変化の度合い

* 切除断端・・・乳房温存手術時に切除した部分の切り口

ちなみに、日本乳がん情報ネットワークが昨年行った「2005 年 非浸潤癌アンケート」結果による VNPI スコア合致結果においては、合致…21.30%・非合致 8.21%・記入漏…70.47%でした。